

結婚・少子化対策事業について

○ 事業の背景・目的

- ・ 人口ビジョン・総合戦略の基本目標「若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる」ことを実現するための具体的施策として、清水町地域農業再生協議会で「結婚支援事業」を実施している。平成28年度は9件、平成29年度は18件のカップルが成立しているが、結婚・定住・出産へと必ずしも結びついていない。
- ・ 「地域の特色を生かした教育推進事業」においては、少人数学級や、幼児期からの英語教育等を実施しているが、少子化対策に思うようにつながっていない。
- ・ 本町は、保育料無料化、子どもの医療費無料化、義務教育費の軽減等、「子育て支援策」は全国的にトップクラスのサービスを展開している。
- ・ 今回、取組もうとする「結婚・少子化対策」は、子どもが生まれてこない現状を打破するものであり、結婚したい、子どもを持ちたいという希望をかなえられないでいる人の阻害要因を解消し、まちぐるみで結婚を応援する事業である。
- ・ 様々な対象者、年齢層、角度から結婚対策を進めることにより、清水町の出生率を高め、持続可能な未来につながることを目的に事業を実施する。

○ 事業内容

- ・ 結婚・少子化対策にあらゆる世代が、まちぐるみで取組む体制を整備する。
- ・ 結婚相談所と包括連携協定を目指す。
- ・ 地域農業再生協議会で実施するカップリングパーティーとは異なる層（40歳以上の方やシングルマザー等）を対象に、包括連携協定予定の結婚相談所と協力し恋愛塾を実施する。あわせて、本町の先進的な子育て支援策をPRする。恋愛塾終了後は、イベント会社と協力し趣向をこらした交流会を実施する。
- ・ 婚活サポーター制度を作り、サポーターは、パーティーの企画、結婚に至るまでのアフターケアを担い、まちぐるみで結婚をサポートする体制を築く。
- ・ 対外的なPRを強化するため、お見合い雑誌を作り、本町が結婚対策に力をいれている町であるということを、全国的に広く周知する。
- ・ 全ての世代に切れ目のない、人口減少対策、少子化対策を講じるため、高校生を中心とする、清水町ミライ若者会議（仮称）を各世代に作り、中学生、高校生、大学生が考える、本町に必要な人口減少対策、少子化対策を提案してもらい、内容によっては具現化を目指す。
- ・ 清水町ミライ若者会議（仮称）の構成員は、ふるさとワーキングホリデーにより、本町に滞在している都市部の学生達とも交流を深める。

○ 事業予算

【収入】

項目	金額（千円）	備考
道補助金	1,396	地域少子化対策重点推進交付金
一般財源	1,396	
合計	2,792	

【支出】

項目	金額（千円）	備考
報償費	600	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚相談所包括連携協定に係る講師報償 40,000 円 ・婚活サポーター活動謝礼 100,000 円 ・婚活サポーター活動経費 60,000 円 ・若者会議講師、コーディネーター謝礼 400,000 円
需用費	1,252	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業消耗品 10,000 円 ・お見合い雑誌製本・印刷 1,242,000 円
委託料	940	<ul style="list-style-type: none"> ・カップリングパーティー企画運営 2回開催予定 (内訳) 参加者経費（旅費等） 500,000 円 景品等 40,000 円 広告・企画 400,000 円
合計	2,792	